秀峰通信『啐啄』

No２０　　平成２２年８月２３日（月）

地元の企業の方から、いつも見られているという意識を持ってほしい！

楠田さんの話を真剣に聴く

〇９日（月）の登校日に、全校集会にて、斎藤教頭先生と進路対策専門員の楠田さんに、就職関係のことを中心に話をしてもらいました。その主な要点等をあげておきたいと思います。

・本年度も求人状況は非常に厳しい状況にある。
・高校新卒求人をしない企業は、これまでに早期退職で懲りた経験がある。（一人を雇用するのに５００万円掛かる。）
・就職先を決めるには、志望動機をよく考え、しっかりした目的意識を持つこと。（職業観・勤労観）親にも十分相談。先生にも。
・経済のグローバル化に対して、英語力・語学力を身に付けた人材が求められている。
・新聞の経済欄に日頃から目を通したり、インターネットで会社のことを調べたりする。

☆秀峰生は、日頃から、地元の企業の方に見られている（面接試験を受けているのと同じ）という意識を持って、行動していってほしい。（服装容儀がまず目につくことを意識すること）

新体操男子団体　最高の「銅」・・・全国高等学校総合体育大会

〇９日（月）、沖縄市体育館で行なわれた新体操男子団体で、ミスなしの完璧な演技で、１９．０７５点を獲得し、見事３位となりました。全国選抜と九州大会の反省を生かし、基本を徹底して反復練習し、また、３段タワーなどの高難度の組み技を効果的に織り込んでの成果でした。朝留涼太主将が、

「最高の演技ができたので、悔いはない。楽しかった。」

と潔く述べたそうです。秀峰生らしい、爽やかさを感じました。地道な練習により、常に“全国ベスト３”の実績を維持しているということは、新体操部だけでなく、本校全体にとっても大きな「自信」と「誇り」になることだと思います。「秀峰ブランド」確立にも、また、一歩近付いたと言えます。

＜**ウエイトリフティング**部の結果＞・・・**竹田君　堂々の２位**

・　５８㌔級　下別府孝也　２５位・・・トータル１４７㌔（スナッチ６７、ジャーク　８０）
・　６９㌔級　安藤　雄亮　５７位・・・トータル１７９㌔（スナッチ７８、ジャーク１０１）
・**１０５㌔級　竹田　善彦　　充実の３部門県高校新**
スナッチ１１９㌔・・・１位　C&ジャーク１５２㌔・・２位
トータル２７１㌔・・・２位

金メダルの竹田君を囲んで７人衆

☆竹田君は、大会５日前の練習中に突然、左肩に激痛を覚え、沖縄で整骨院に通院し、万全の状態ではなかったにもかかわらず、ぶっつけ本番で、自己記録を更新しました。これまでの地道な努力があってこその結果です。「心配し、支えてくれた人のためにも結果を出したい。」という感謝と恩返しの気持ちが力を発揮させ、６回の試技を全て成功させたようです。

＜サッカー1年生大会結果＞・・・健闘し、３位！（延岡市で開催）
・１回戦　８：１　聖心ウルスラ・延岡商業　　・２回戦　３：２　日向・富島
・３回戦　１：０　日南振徳（ベスト８）・準々決勝　０：０（PK４：１）日南学園（ベスト４）
・準決勝　１：５　日章学園

＜ハンドボール１年生大会＞・・・決勝トーナメント結果
・男子　優勝（６人で）　２１：９（宮崎工）、２５：１３（小林）、２６：１２（日向）
・女子　２位（２名特別参加）　２０：４（宮崎商）、１６：１０（小林）９：１２（宮崎学園）

＜陸上１年生大会＞
・深瀬あき乃（商業）　やり投げ２４ｍ４１・・・５位　　円盤投げ２０ｍ７３・・・６位

「宮崎ものづくり人材育成塾」が実施されました。・・・「キャリア教育推進事業」本年度より３年間

○１７日（火）～１９日（木）の３日間、延岡市のむかばき青少年自然の家で、県内７校の工業学科の生徒９６名が集まり実施されました。本校生からも機械科、電気科、建築環境科各４名の合計１２名が参加しました。初日は、開塾式の後、講演と演習「チャレンジ！ものづくり～環境に優しいものを発明してみよう～」（消費電力を半分にし、幸せ度は２倍に）があり、２日目は学科毎に各研修場所に移動して実習を行ない、最終日には、演習の発表と講評があり今後に生かせる貴重な体験をしたようです。	企業の方の話を熱心に聴く。

＜趣旨＞

県内の工業高等学校と地域産業界とが連携し、将来の宮崎ものづくり産業を担う人材を育成する。

＜事業内容＞

専門分野を超えたグループワーキングや各専門分野の企業等において、現場実習や高度技能者の指導など、ものづくりに関する実践的な学習を６分野（機械系、電気系、建築・土木系、化学系、インテリア系）の生徒を対象に、２泊３日の日程で実施する。

＜非電化工房代表の藤村氏の講演より＞

環境に優しいものを発明してきた経緯から始まり、**電気を使わない冷蔵庫**の話など、生徒も先生方をも引き付ける内容であり、とても興味深いものでした。発明家は、新しい選択肢を提供するのが仕事であり、**「努力、協力、工夫が幸せにつながる」「勇気と希望が必要」**と話されました。

小中学生数最低を更新・・・平成２２年度宮崎県「学校基本調査」

○宮崎県は小中学校、高校の児童・生徒数、進学・就職者数の速報値を発表しました。それによると、小学校の児童数は６万５１２２人、中学校の生徒数は３万５０５７人で、いずれも過去最低を更新した。高校の生徒数は、約３万５０００人となっています。（１学年おおよそ１万１０００±α人前後）

高校卒業者の進路については、進学率は４４・７％（全都道府県中３６位）、就職率は２６・６％（同６位）で、進学率が低く、就職率が高い傾向が続いています。（進学率は大学等の進学。専門学校等への進学は含んでいない。）また就職した生徒の中で県内に就職先を選んだ割合は５９・１％（同４２位）で、県外に流出する傾向も続いています。（１０日の定例教育委員会の発表より）

青がきれいなアサガオ	○早いもので、２６日（木）から二学期が始まります。例年にない猛暑で、熱中症が毎日のように話題になった夏休みでした。生徒たちは、無事にそして、充実した夏を終えそうです。二学期は、**「実りの秋」**となるように、生徒も先生方も意欲的に様々なことに取り組んでいってほしいと思っています。就職・進学試験、体育大会、文化祭、研究授業・公開授業など、一つひとつに確実に成果をあげられるように、頑張っていきましょう。

○新体育館の工事は猛暑の中にあって大変だと思いますが、順調に進んでいるようです。地上部分の工事が着々と行なわれています。アリーナ、ステージ、倉庫、更衣室、トイレ、玄関部分など、様子がわかるようになりました。隣接している多目的トレーニング室も地上部分の工事に入っています。

○私たちは、絶えず教職員としての資質向上に努め、生徒や保護者からの期待に応えようと、教科指導、生徒指導、部活動指導など日々地道に努力し続けています。２学期を迎えるにあたり、服務規律の遵守について再確認し、**「信頼される教職員」**としての意識をさらに高揚させたいと考えています。